

# I 男女の地位の平等

## 1 男女平等についての現在の状況

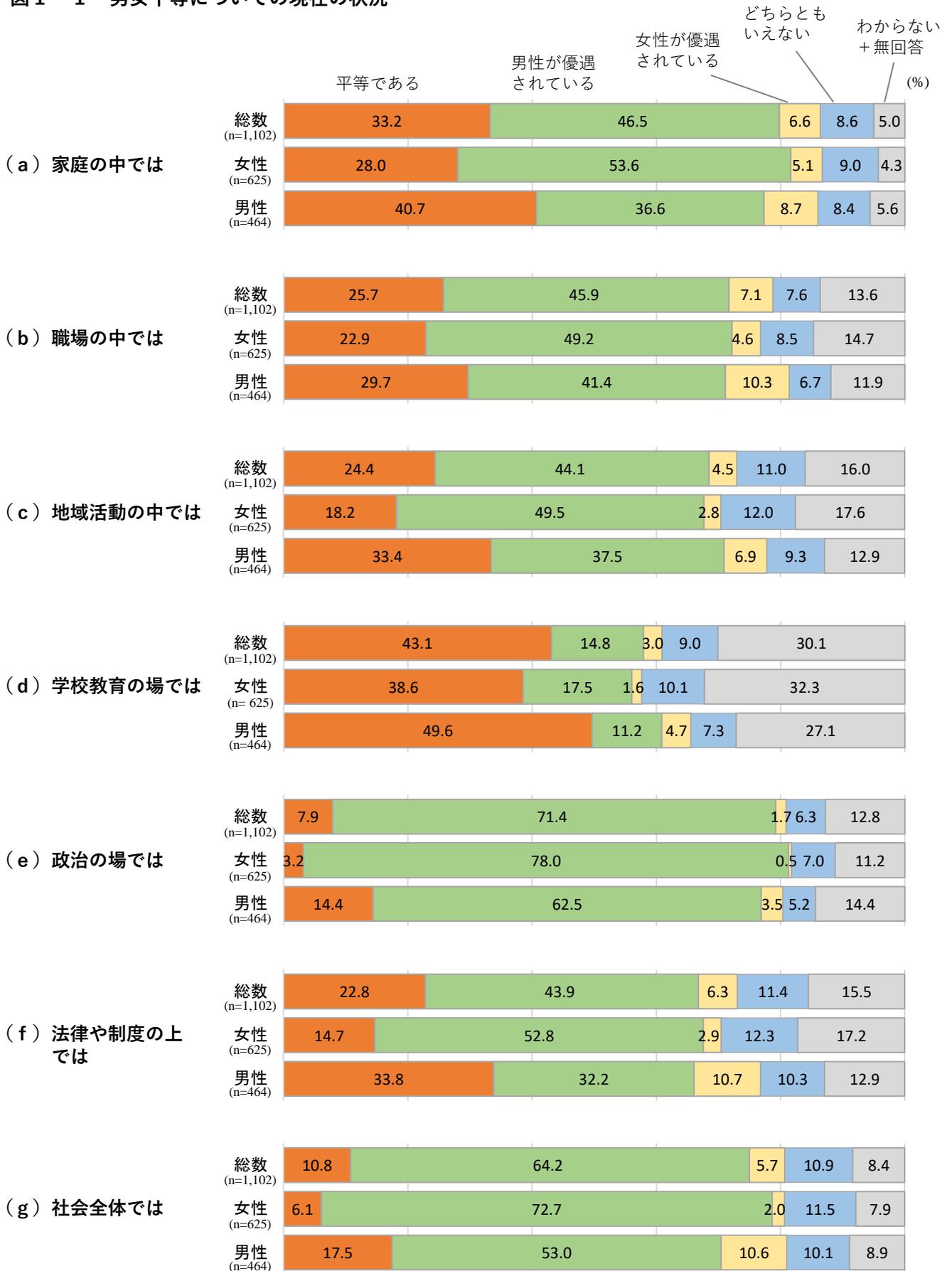
問1 現在の日本の社会において、次あげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(a)～(g)の各分野について、あなたの考えに近いものの番号に1つずつ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

全体では「平等である」が、“(d)学校教育の場では” (43.1%)、“(a)家庭の中では” (33.2%)、“(b)職場の中では” (25.7%)、“(c)地域活動の中では” (24.4%) の順に多くなっている。「平等である」が最も少ないのは“(e)政治の場では” (7.9%) である。

女性では、“(g)社会全体では” (6.1%)、“(e)政治の場では” (3.2%) で、「平等である」が1割未満になっており、また、すべての項目で男性よりも「平等である」が少なくなっている。

男性では、“(g)社会全体では” (17.5%)、“(e)政治の場では” (14.4%) が1割台となっているが、すべての項目で女性よりも、「平等である」が多くなっている。特に差が大きいのは、“(f)法律や制度の上では” (33.8%) で、男性が女性を19.1ポイント上回っている。

図1-1 男女平等についての現在の状況



※『男性が優遇されている』は、調査票選択肢の「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計したもの。  
『女性が優遇されている』は、調査票選択肢の「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計したもの。  
以降のページも同様。

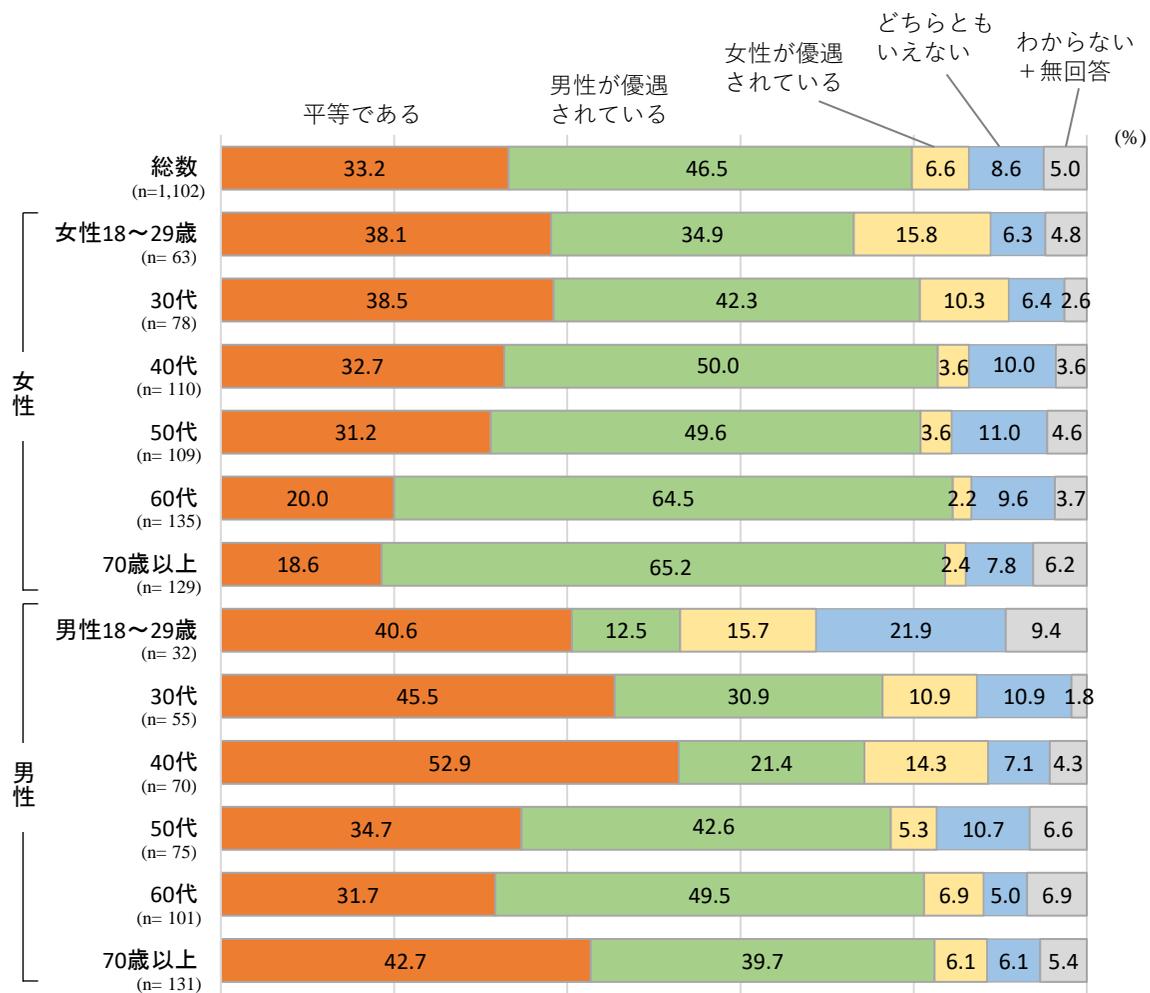
# 1 男女平等についての現在の状況

## (a) 家庭の中では

女性では、「平等である」は18～29歳（38.1%）と30代（38.5%）で多くなったが、60代は20.0%、70歳以上では18.6%にとどまり、年代が高くなるにつれ少なくなる傾向がみられる。また、『男性が優遇されている』は18～29歳（34.9%）で最も少なく、70歳以上（65.2%）で最も多くなった。

男性では、「平等である」が40代（52.9%）で最も多くなった。『男性が優遇されている』は60代（49.5%）で半数近くを占めている。

図1-2 男女平等についての現在の状況 (a) 家庭の中では (性×年代別)



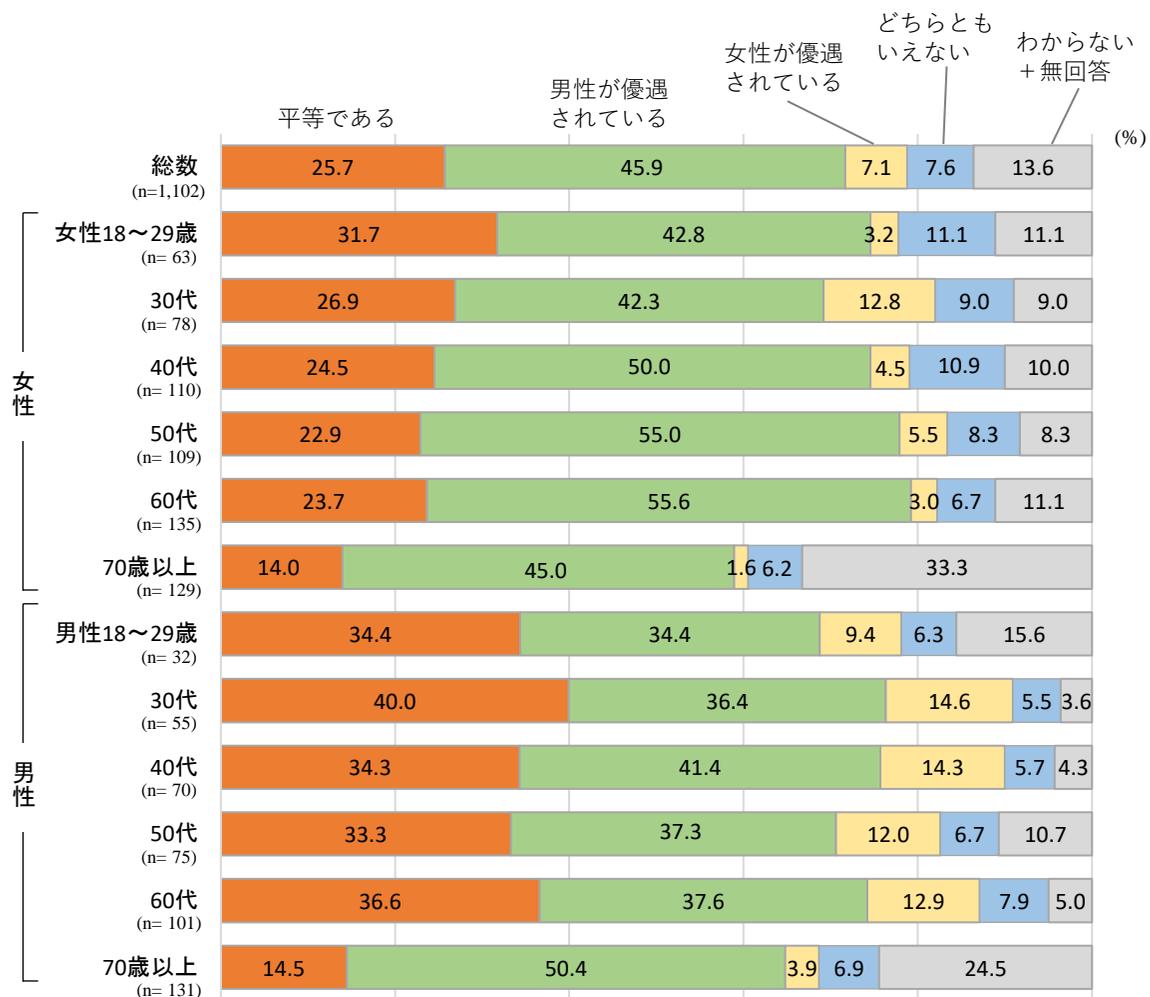
# 1 男女平等についての現在の状況

## (b) 職場の中では

女性では、「平等である」が18～29歳（31.7%）で最も多く、70歳以上（14.0%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は、40代から60代で50%以上となっている。

男性では、「平等である」が30代（40.0%）で最も多く、『男性が優遇されている』は70歳以上（50.4%）で最も多くなっている。

図1-3 男女平等についての現在の状況 (b) 職場の中では (性×年代別)



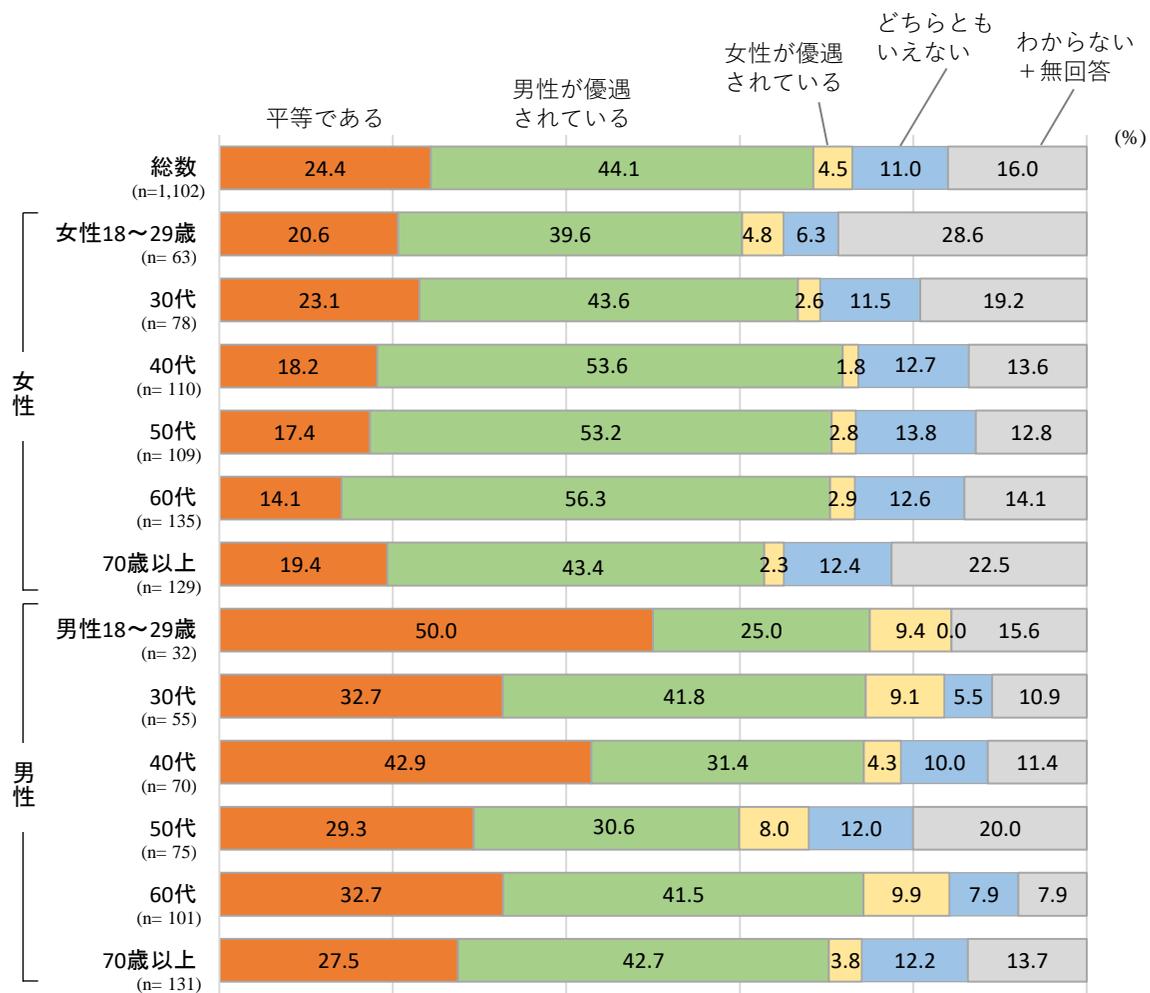
# 1 男女平等についての現在の状況

## (c) 地域活動の中では

女性では、「平等である」が30代（23.1%）で最も多く、60代（14.1%）が最も少ない。『男性が優遇されている』は40代から60代で50%以上となっている。

男性では、「平等である」が18～29歳（50.0%）で最も多く、70歳以上（27.5%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は70歳以上（42.7%）、30代（41.8%）、60代（41.5%）で4割を超えている。

図1-4 男女平等についての現在の状況 (c) 地域活動の中では (性×年代別)

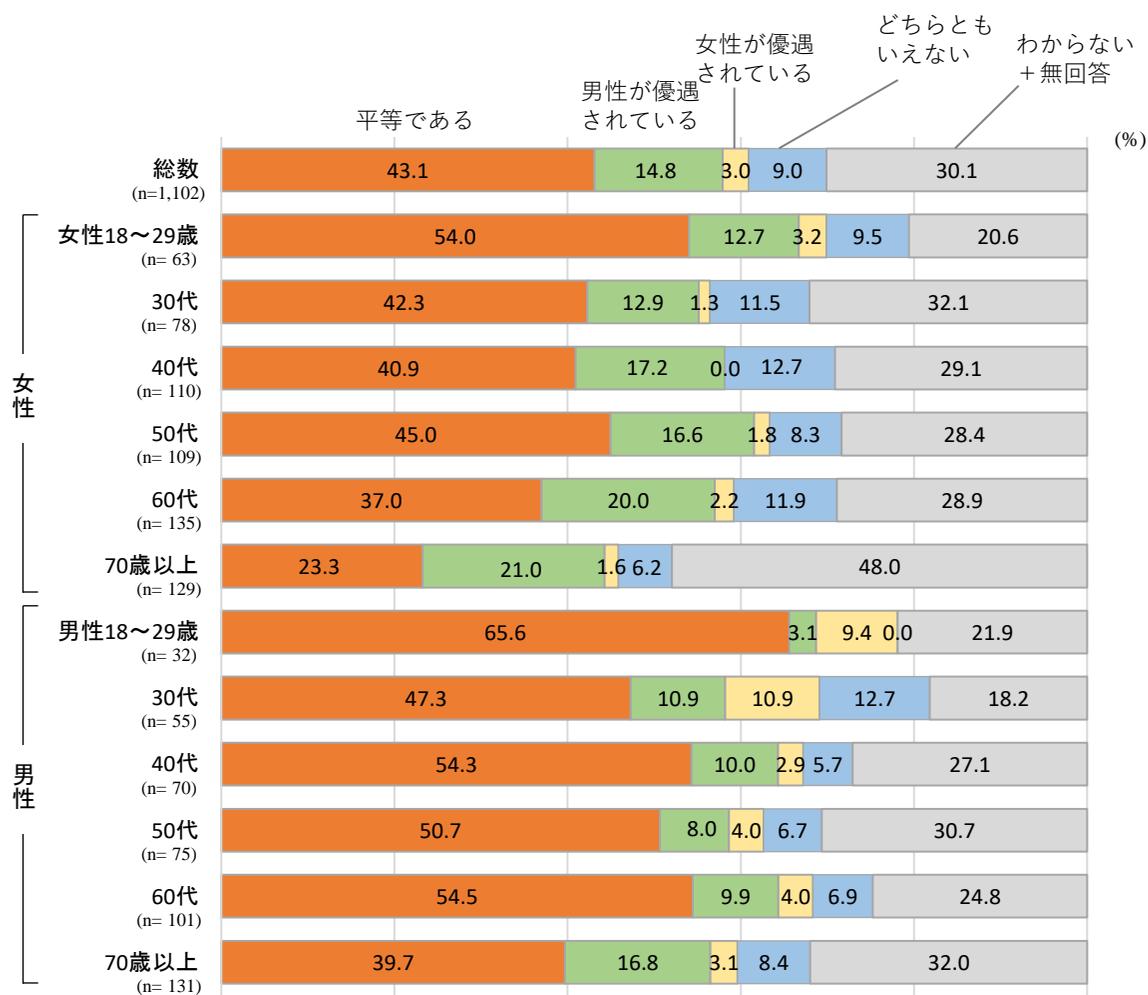


# 1 男女平等についての現在の状況

## (d) 学校教育の中では

女性では、「平等である」が18～29歳（54.0%）で最も多く、70歳以上（23.3%）で最も少なくなっている。『男性が優遇されている』は70歳以上（21.0%）で最も多い。  
 男性では、「平等である」が18～29歳（65.6%）で最も多く、70歳以上（39.7%）で最も少なくなっている。『男性が優遇されている』は、70歳以上（16.8%）で最も多くなっている。

図1-5 男女平等についての現在の状況 (d) 学校教育の中では (性×年代別)

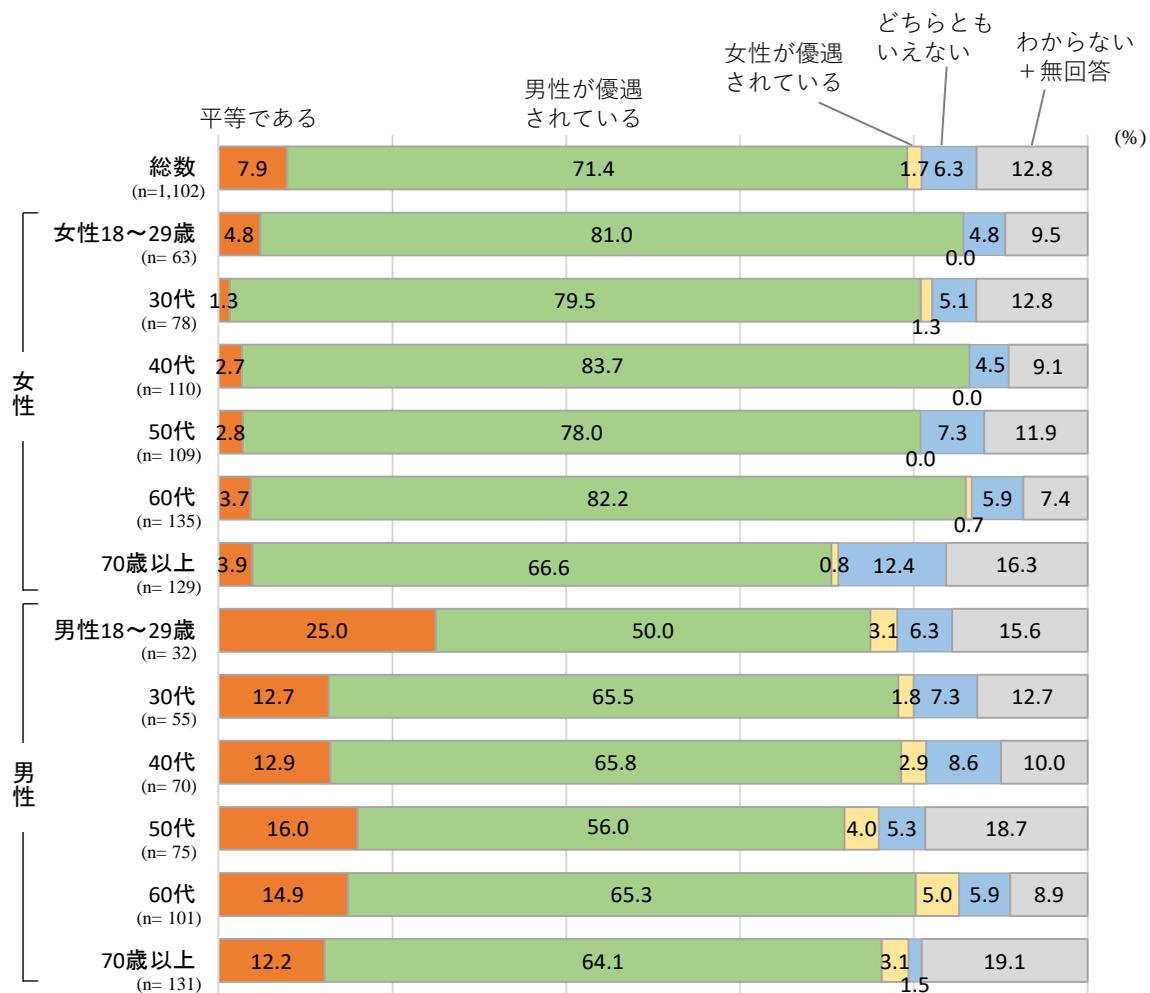


# 1 男女平等についての現在の状況

## (e) 政治の場では

女性では、「平等である」がいずれの年代でも1割以下となっている。『男性が優遇されている』は40代（83.7%）、60代（82.2%）と18～29歳（81.0%）で8割を超えている。  
 男性では、「平等である」は18～29歳（25.0%）で最も多く、70歳以上（12.2%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は18～29歳（50.0%）で最も少ない。

図1-6 男女平等についての現在の状況 (e) 政治の場では (性×年代別)



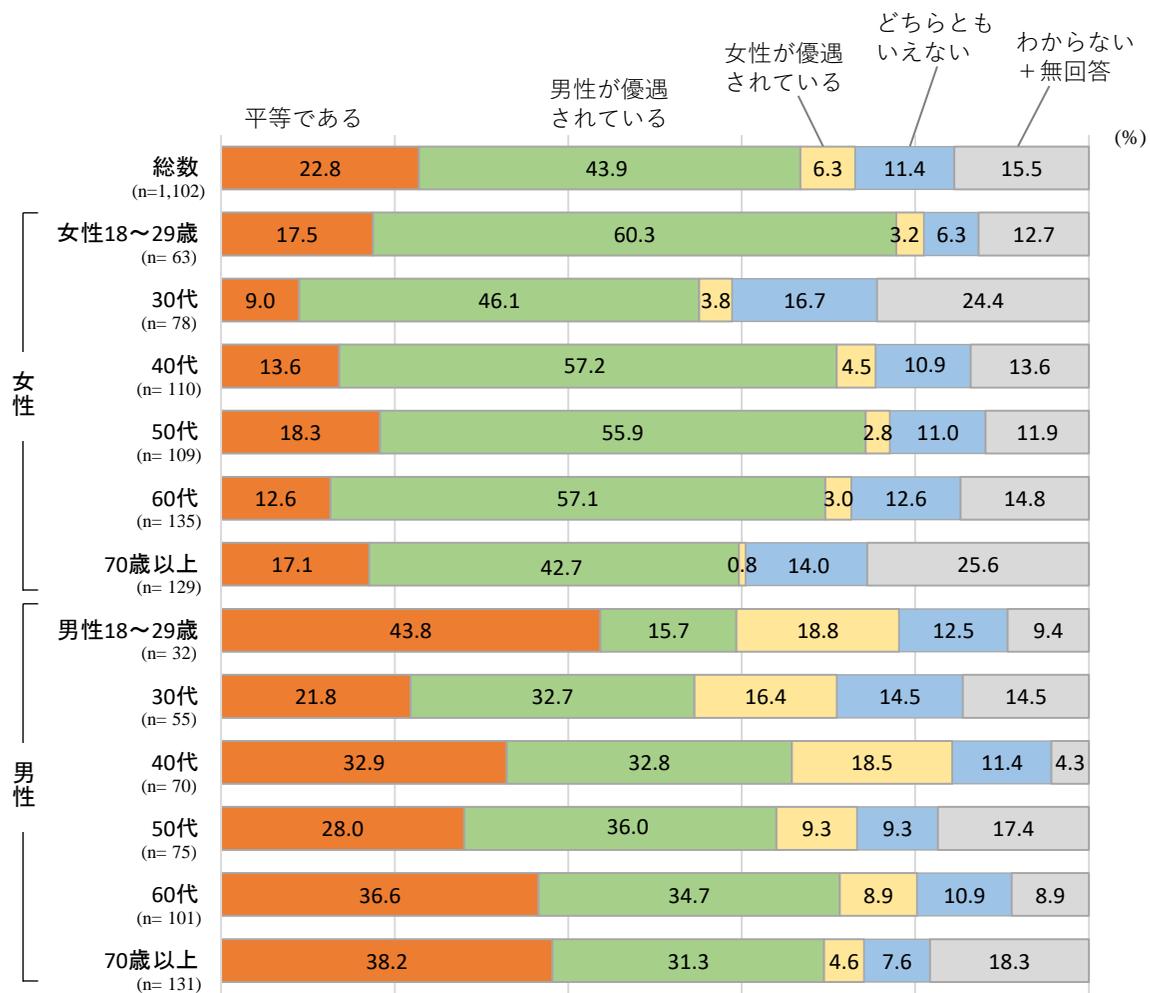
# 1 男女平等についての現在の状況

## (f) 法律や制度の上では

女性では、「平等である」が50代（18.3%）で最も多く、30代（9.0%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は18～29歳（60.3%）で最も多く、70歳以上（42.7%）で最も少なくなった。

男性では、「平等である」が18～29歳（43.8%）で最も多く、30代（21.8%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は50代（36.0%）で最も多く、18～29歳（15.7%）で最も少ない。

図1-7 男女平等についての現在の状況 (f) 法律や制度の上では (性×年代別)



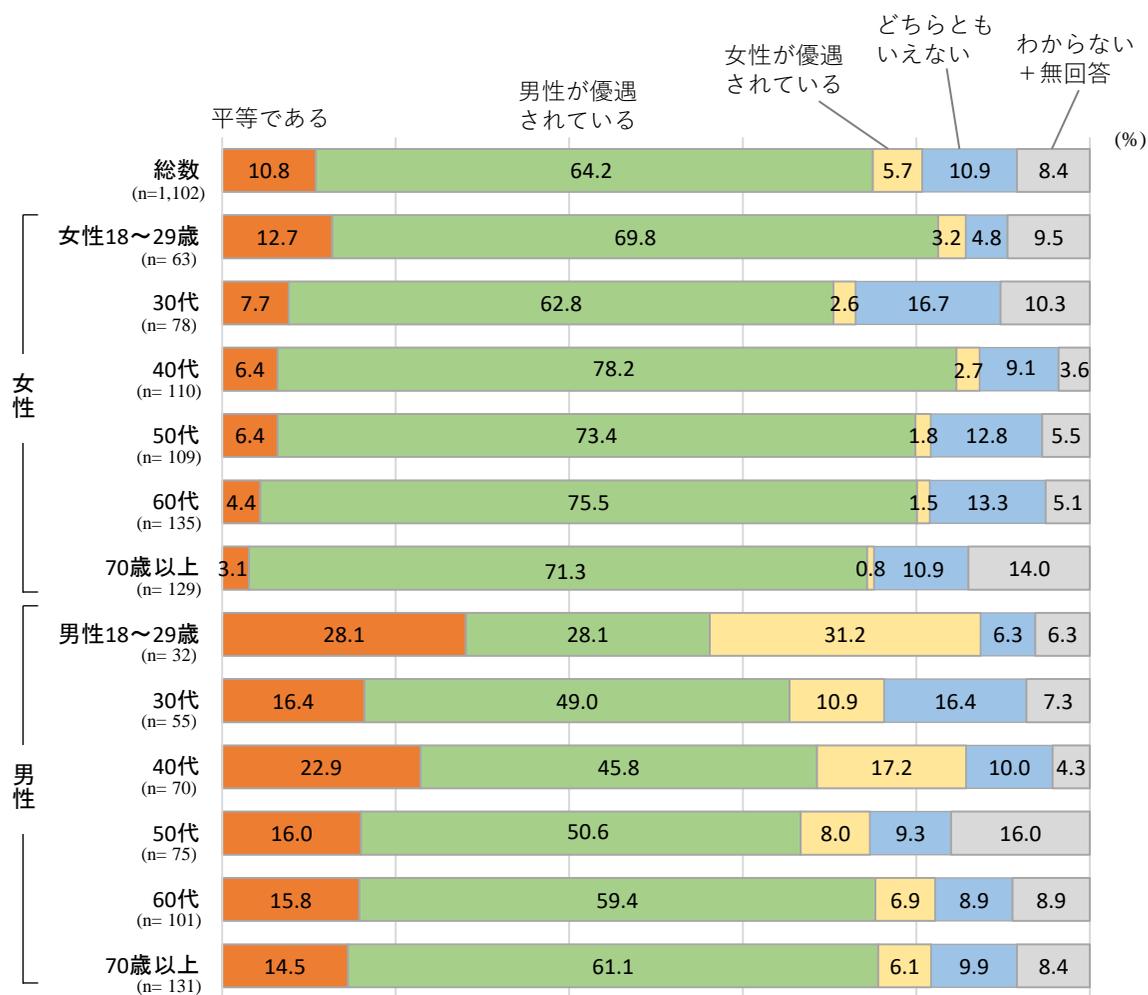
# 1 男女平等についての現在の状況

## (g) 社会全体では

女性では、「平等である」が18～29歳（12.7%）で最も多く、70歳以上（3.1%）が最も少なく、年代が高くなるにつれて少なくなる傾向がみられる。『男性が優遇されている』は40代（78.2%）で最も多くなった。

男性では、「平等である」が18～29歳（28.1%）で最も多く、70歳以上（14.5%）が最も少ない。『男性が優遇されている』は70歳以上（61.1%）が最も多くなった。

図1-8 男女平等についての現在の状況 (g) 社会全体では (性×年代別)

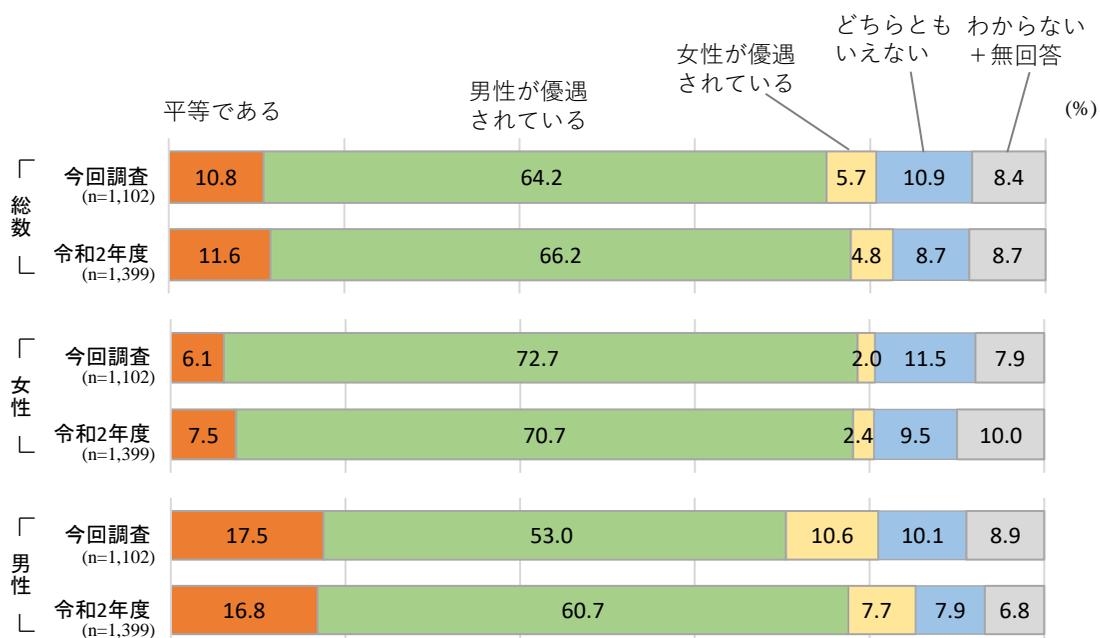


# 1 男女平等についての現在の状況

## (g) 社会全体では 【令和2年度調査との比較】

前回調査と全体の傾向は大きくは変わっていない。  
 前回調査に引き続き、「平等である」と感じている割合は男性の方が多く、今回の調査でも0.7ポイント増加した。一方で、「平等である」と感じる女性の割合は今回調査では1.4ポイント減少した。

図1-9 (g) 社会全体では 【令和2年度調査との比較】



# 1 男女平等についての現在の状況

## 【令和6年度内閣府調査との比較】

内閣府が令和6年度に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」の結果と傾向を比較する。（但し、内閣府調査は、質問文が異なること、設問項目で一致しないものがあること、回答選択肢が「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「平等」「わからない」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」の6つであること等から厳密な比較はできない。）

“（a）家庭の中では”と“（b）職場の中では”を除き、「平等である」が総数、女性、男性ともに全国の方が比率が高い傾向にある。

図1-10 男女平等についての現在の状況 【令和6年度内閣府調査との比較】

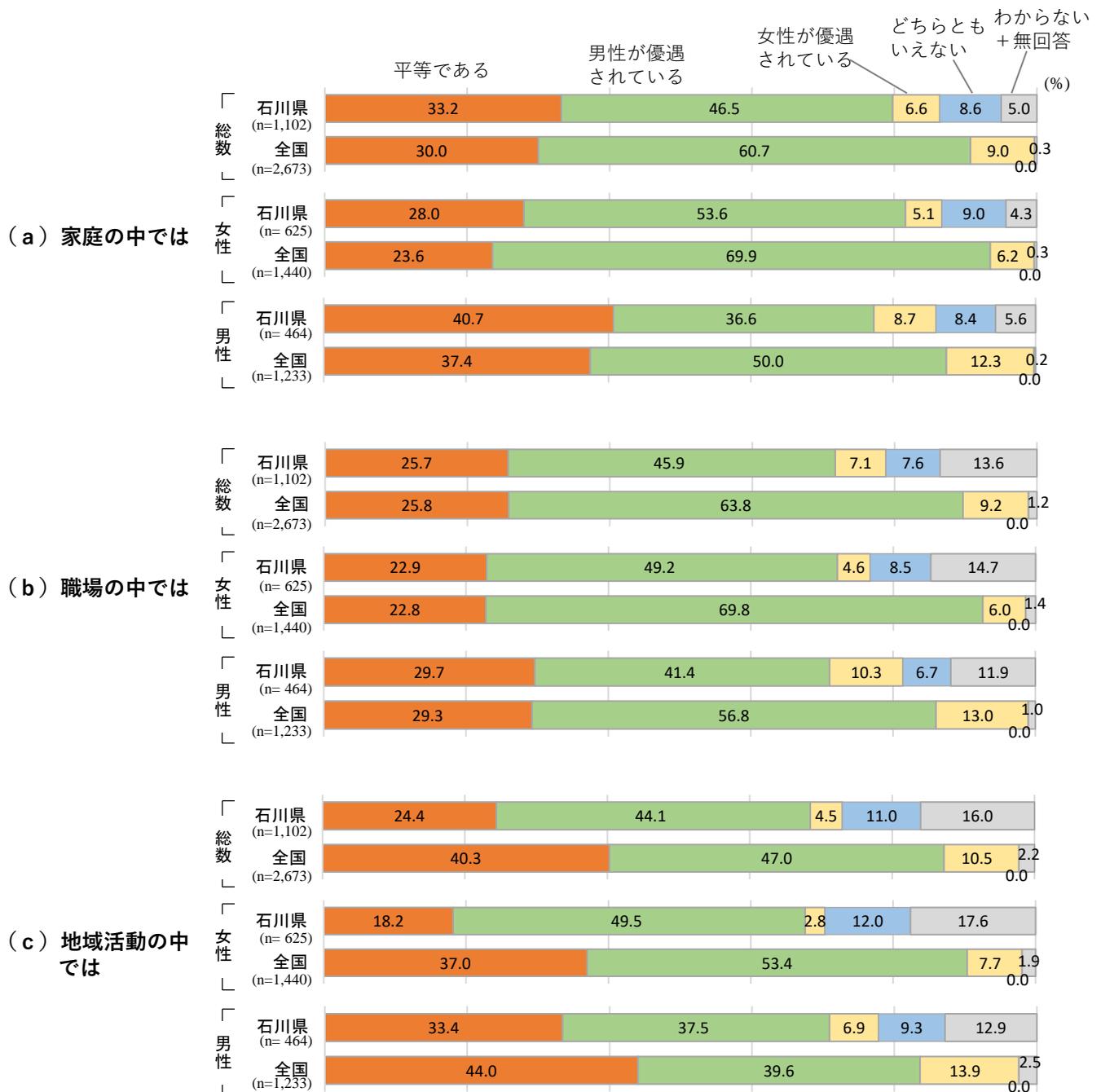


図1-10 男女平等についての現在の状況 【令和6年度内閣府調査との比較】

